



慶應義塾大学ビジネス・スクール

スマイル・アカデミー

5

スマイル・アカデミーの誕生

スマイル・アカデミーは1986年（昭和61年）4月 株式会社スマイル・アカデミーとして、
 現会長である鈴木大輔によって設立された。鈴木氏は、1935年（昭和10年）に鈴木家の長男と
 して北海道に生まれた。鈴木家の躰は大変厳しく、悪戯をした時は自宅裏山の木に一晩中括りつ
 けられたこともあった。鈴木氏は関東の私立大学に入学し、学生時代は当時名門であった体育会
 サッカー部のキャプテンとして活躍した。卒業後は、中古自動車販売に従事し、スマイル・アカ
 デミー設立までは、国内販売および海外輸出を展開するジャパン・モーター社の専務として活躍
 した。ジャパン・モーター社勤務時は、激昂すると赤くなることから赤鬼として恐れられていた
 が、後輩の面倒は最後までみようとする情に厚い面もあった。鈴木氏は、ジャパン・モーター社
 で次期社長候補と目されていたが、社内での政治的な戦いに負けて退職を決め、自らの会社を設
 立したのであった。

10

15

設立当初スマイル・アカデミーは、大学受験のための予備校を開校していた。設立当時は団塊
 世代の子供が大学受験に突入する時代でもあり、学生数は年々増加し、業績もこれに比例して順
 調に成長した。会社の成長とともに鈴木氏は拡大路線を走り、社会人女性を対象とした資格や趣
 味の学校、高校卒業予定者を対象とした各種専門学校、外国人のための日本語学校、海外留学の
 ための英語学校、マンツーマン英会話学校などを展開。同時に海外にも広く事業を展開し、香港
 における中国人を対象とした日本語学校や、台湾における幼児英会話学校の買収、豪州や米国に
 おける日本人のための英会話学校の買収などを行い、幅広く事業を展開した。

20

25

2004年には本社を札幌大通り公園前から東京六本木に移転し、2006年7月には、持ち株会社
 であるスマイル・ホールディングス株式会社がジャスダック証券取引所に上場した。

本ケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 32 期生 井上英二が渡辺直登教授の指導の下、作成を行っ
 た。当ケースにおける会社名、個人名および事業に関する事実は偽装されている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾
 大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:
 case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許
 可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法
 （電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 渡辺直登、井上英二（2011年2月作成）